

# 第37回日本中毒学会総会・学術集会 日程表

第1日目 7月17日(金)

和歌山県民文化会館					
	第1会場 (大ホール)	第2会場 (小ホール)	第3会場 (特設会議室)	各種委員会	
				(402 会議室)	(403 会議室)
7:00					
8:00					編集委員会 (7:00-9:00)
8:50	開会の挨拶			国際委員会 (8:00-9:00)	
9:00	教育講演1 「一酸化炭素中毒と高気圧酸素治療」 座長： 辻本登志英(日赤和歌山医療センター) 演者： 合志 清隆(琉球大学病院高気圧治療部)		一般演題1「患者対応(1)」 座長：西山 隆(神戸大学) 山本 理絵(太田記念病院) 厚紡 浩史(奈良県立医大) 萩野 隆史(北関東循環器病院) 土井 智章(一宮市立市民病院) 荒木 浩之(中毒情報センター) 樽井 武彦(杏林大学)	シンポジウム 打ち合わせ (9:00-10:00)	
10:00	シンポジウム 「危険ドラッグ—その現状と対策—」 座長： 広瀬 保夫(新潟市民病院) 座長： 野田 幸裕(名城大学) 演者： 明石 暁子(墨東病院) 佐藤 洋祐(国際医療研究センター) 本村あゆみ(千葉大学) 藤田 友嗣(岩手医大) 浅野 水辺(愛媛大学) 横野 陽介(東京大学) 横山 隆(札幌中央病院) 梅鉢梨真子(東海大学) 小原佐衣子(災害医療センター)	白熱ディベート1「CO中毒に高気圧酸素治療は必須である」 座長： 合志 清隆(琉球大学) Pro： 矢澤 和虎(やざわ虎クリニック) Con： 藤田 基(山口大学)	一般演題2「患者対応(2)」 座長：岩崎 泰昌(広島大学) 森 博美(たんぼ薬局) 小林憲太郎(国際医療研究センター病院) 友田 吉則(北里大学) 小橋 大輔(前橋赤十字病院) 奈良良 昭(広島大学) 佐藤 琢紀(国際医療研究センター)		
11:00		白熱ディベート2「急性中毒治療に血液浄化療法は有効である」 座長： 松原 峰生(大津日赤) Pro： 吉永 雄一(千里救命センター) Con： 林 晃正(大阪府立急性期・総合医療センター)	一般演題3「患者対応(3)」 座長：杉田 学(順天堂大学練馬病院) 秋富 慎司(防衛医大) 深山 靖夫(東京医療センター) 斉藤 剛(東海大学) 杉田真理子(東海大学) 是永 章(神戸中央市民病院) 小野寺 誠(岩手医大) 板井 純治(広島病院)	教育委員会 (11:00-12:00)	
12:00				連携委員会 (12:00-13:00)	保険委員会 (12:00-13:00)
13:00	教育講演2 「救急医療機関における物質乱用・依存への対応」 座長： 上條 吉人(北里大学メディカルセンター) 演者： 松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター)		一般演題4「自然毒」 座長：近藤留美子(北里大学) 新中さやか(相澤病院) 井上 朋子(北里大学東病院) 大林 正和(中東遠総合医療センター) 奈良良 昭(広島大学) 山田 裕樹(日赤和歌山医療センター) 大河内謙太郎(大阪医療センター) 山野 修平(長崎大学) 上村 吉生(東京医療センター)	合同シンポジウム 打ち合わせ (13:00-14:00)	
14:00	合同シンポジウム 「臨床中毒学と毒性学—そのコラボレーション—」 座長： 武山 直志(藤田保健衛生大学) 座長： 福本真理子(北里大学薬学部) 演者： 森田 健(国立医薬品食品衛生研究所) 山口 芳裕(杏林大学) 鈴木 勉(星薬科大学) 成瀬 暢也(埼玉県立精神医療センター) 菅野 純(国立医薬品食品衛生研究所)	白熱ディベート3「胃洗浄は服毒後3時間以内でない意味が無い」 座長： 定光 大海(大阪医療センター) Pro： 清田 和也(さいたま赤十字病院) Con： 宮内 雅人(日本医大高度救命救急センター)	一般演題5「工業用品」 座長：山元 俊憲(昭和大学) 近藤 武史(神戸大学) 橋本 忠幸(南和歌山医療センター) 阿部 貴敏(高崎総合医療センター) 關 匡彦(奈良医大) 田中 拓(多摩病院) 中井 智己(日赤和歌山医療センター)		
15:00		白熱ディベート4「自殺企図予防には精神科医の処方量減少が有効である」 座長： 篠崎 和弘(和歌山県立医科大学神経精神科) Pro： 上條 吉人(北里大学メディカルセンター) Con： 東 陸広(日赤和歌山医療センター精神科)	一般演題6「医薬品(1)」 座長：石原 論(兵庫県災害医療センター) 薬師寺泰匡(岸和田徳洲会病院) 宮 顕(筑波大学) 藤井 公一(宇都宮病院) 吉岡 早戸(国立災害医療センター) 益満 茜(南和歌山医療センター) 中山由紀恵(群馬大学)		
16:00	教育講演3 ～クリニカル・トキシコリスト認定セミナー～ 「解毒剤1：メチレンブルー」 座長： 須崎紳一郎(武蔵野赤十字) 演者： 清田 和也(さいたま赤十字病院)	白熱ディベート5「覚醒剤中毒患者を診たときは警察に届ける」 座長： 中野 実(前橋赤十字) Pro： 橋本雄太郎(杏林大学) Con： 松本 俊彦(精神・神経医療研究センター)			
17:00	会員懇親会 歓迎の夕べ				
18:00	2015年7月17日(金) 18:00～20:00 ホテルアパローム紀の国(鳳凰の間) 参加費：3,000円				
19:00					
20:00					

## 第2日目 7月18日(土)

和歌山県民文化会館					
7:00	第1会場 (大ホール)	第2会場 (小ホール)	第3会場 (特設会議室)	各種委員会	
				(402 会議室)	(403 会議室)
8:00					広報委員会 (8:00-9:00)
9:00	教育講演4 「危険ドラッグ：中毒・依存症状の発現機序」 座長： 阪口 勝彦（日赤和歌山医療センター） 演者： 野田 幸裕（名城大学薬学部）		一般演題7「医薬品（2）」 座長：菊野 隆明（東京医療センター） 宮内 直人（倉敷中央病院） 塚原 紘平（岡山大学） 榎屋 友幸（三重大学） 岩谷 洋介（さいたま赤十字病院） 田中 真生（和歌山医大） 森澤 紀彦（慈恵医大）	パネル ディスカッション 打ち合わせ (9:00-10:00)	
10:00	パネルディスカッション 「知られない、知っておくべき、知らしむべき中毒診療」 座長： 丸山 克之（近畿大学） 座長： 八木 啓一（横浜市立みなと赤十字病院） 演者： 新谷 裕（北野病院） 清水 恵子（旭川医大） 森川 剛（北信総合病院） 小島 直樹（公立昭和病院） 為廣 一仁（聖マリア病院） 鹿志村 剛（聖マリアンナ医科大学） 一二三 亨（香川大学） 特別報告： 上條 吉人（北里大学メディカルセンター）	白熱ディベート6「マムシ咬傷には抗毒素投与が必要である」 座長： 堺 淳（日本蛇毒学術研究所） Pro： 野田 慶太（熊本赤十字） Con： 辻本登志英（日赤和歌山医療センター）	一般演題8「医薬品（3）」 座長：堀 寧（新潟市民病院） 河西 克介（青梅市立総合病院） 竹中 信義（藤田保健衛生大学） 郷 佳苗（日赤和歌山医療センター） 野島 剛（高知医療センター） 岡田 純一（群馬大学）		
11:00		白熱ディベート7「アセトアミノフェン中毒にはNAC投与が必須である」 座長： 嶋津 岳士（大阪大学） Pro： 福本真理子（北里大学） Con： 山本 敬洋（帝京大学）	一般演題9「医薬品（4）」 座長：加藤 正哉（和歌山医大） 豊田 将平（兵庫県災害医療センター） 本多 英喜（横須賀市立うわまち病院） 山本 篤史（大阪府急性期・総合医療センター） 石井 晃（名古屋大学） 吉留 敬（川崎医科大学）	分析委員会 (11:00-12:00)	
12:00				事例調査・ 研究委員会 (12:00-13:00)	倫理委員会 (12:00-13:00)
13:00	会員総会 (13:00～13:30)				
14:00	教育講演5 「海洋動物の毒」 座長： 福本真理子（北里大学薬学部） 演者： 長島 裕二（東京海洋大学大学院）	白熱ディベート8「有機リン中毒にPAMは有効である」 座長： 須崎紳一郎（武蔵野赤十字） Pro： 新谷 裕（北野病院） Con： 富岡 譲二（米盛病院）	一般演題10「農業」 座長：奈女良 昭（広島大学） 鎌田 裕基（東北大学） 藤原 純子（島根大学） 藤野 靖久（岩手医大） 白田 忠雄（茨城県立中央病院） 保倉 祥太（大津日赤）		
15:00	教育講演6 ～臨床・トキシコリスト認定セミナー～ 「解毒剤2：ホメピゾール」 座長： 黒木由美子（日本中毒情報センター） 演者： 遠藤 容子（日本中毒情報センター）	白熱ディベート9「インスタントビューの方がトライエージよりも有用である」 座長： 伊関 憲（福島医大） Pro： 大谷 典生（聖路加国際病院救急部） Con： 松岡 徳登（日赤和歌山医療センター検査部）	一般演題11「家庭用品」 座長：川崎 貞男（南和歌山医療センター） 藤芳 直彦（千葉県救急医療センター） 廣瀬 智也（大阪大学） 河上 強志（国立医薬品食品衛生研究所） 山村 英治（日本医大武蔵小杉病院） 新谷 裕（北野病院） 山下 進（徳山中央病院）		
16:00		臨床・トキシコリスト認定試験			
17:00					